



特集

ストック効果 これからの 社会資本整備

- 4 中央環状線全線開通により
首都高都心部における
交通量5%減・渋滞5割減
 - 6 世界最大級の地下河川で
まちを豊かにする
ストック効果の好循環
 - 8 社会資本の蓄積が
暮らしと経済を支えている
 - 10 スtock効果を
これからの日本社会で
どう活用していくべきか
-
- 12 業務密着ルポシリーズ File.34
現場力
関東地方整備局
営繕部
 - 16 教えて! ヒストリー vol.2
霞が関地区と官庁営繕部
 - 18 シリーズ探訪・探究
訪れたいまち 第32回
和歌山県和歌山市
-
- 21 特別編 海の駅
かすみがうら(茨城県)
みえ・かわげ(三重県)
 - 22 MLIT体験レポート
首都圏外郭放水路
(ゲスト・竹田芳幸さん)
 - 23 mlit navi

本誌の掲載文で、意見を述べた部分については、執筆者の個人的見解であることをお断りいたします。また、本文記載記事の無断転載を禁じます。

表紙より

首都圏外郭放水路(埼玉県)

世界最大級の人工地下河川と言われる施設内部(調圧水槽)。詳しくは6ページおよび22ページをご覧ください。

鉄道のストック効果とは?

道路のストック効果とは?

空港のストック効果とは?



河川整備のストック効果とは？

港湾のストック効果とは？

特集

ストック効果 これからの社会資本整備

「ストック効果」という言葉をご存知でしょうか。聞いたことがないという方のほうが多いかもしれません。道路や上下水道、公園、鉄道など、公共の利益のためにつくられたものを「社会資本（＝インフラ）」と呼びます。社会資本は一度つくれば、適切に維持管理することで、その役割や機能は続いていきます。また、これまでつくったものに追加して整備すれば社会資本として蓄積していきます。このように、整備により蓄積された社会資本が「ストック」、その整備された社会資本が機能して、効率性や生産性などが向上していく効果が「ストック効果」です。ストック効果とは具体的にどのようなものなのか、その活用は私たちの生活をどう変えるのか。さまざまな事例を通じて考えてみましょう。